

明昌NEWS めいしょにゅーす

新年号！

2026年1月号(第185号)

発行者: 明昌株式会社

宮崎丹美



新年あけましておめでとうございます！明昌の宮崎です。明昌ニュースは発行開始から20年目を迎えました。毎月の皆さまからの様々なお声により続けてこれました。この場をお借りして心からの感謝を申し上げます。今後も皆さまの現場でお役に立てる内容にしてまいります。本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます！

年明け早々のトラブルにご注意ください！

長期のお休み明けは、印刷トラブルが出やすくなります。

昨年の1月号でもお伝えしました内容、覚えていらっしゃいますか？

関西地域のお客様のインキをお借りして調査を行った結果では、気温低下によるインキ粘度上昇が確認できています。

朝8時の気温：10.5度（地域によって差があります。）

インキの液温：8度 ←2.5度も低い！

インキの粘度：草：10秒 赤：10秒 黒：9秒 白：10秒



気温がより低い場合、インキ粘度もより一層上昇します。そのままの粘度で印刷をスタートした場合、どんな不具合が起こると思いますか？

第一に『色ムラ』です。『粘度上昇しているから希釈したらいい』というお声も聞こえてきそうですが、冷水を加えてはいけません！より一層色ムラの不具合に繋がります。この場合、熱湯を100°C程度入れて、しっかりと搅拌してください。インキが軟らかくなると粘度は下がります。インキの液温が10°C以上になれば循環しやすくなりますから、色ムラの予防に繋がります。

第二に『目詰まり』です。粘度上昇した硬いインキを循環すると、アニロックスロールの表面にインキが残りやすくなります。寒い時期は水洗浄の水もかなり冷えていますから、白顔料が多く入っている色には水洗浄の前に『お湯循環』をお勧めしています。落ちないからと言って水洗浄を繰り返すより、エコで時短で効果的です。トラブル予防に是非試してみてください！

お知らせ

皆さんから多大なるご指導を賜りました矢野孝典が12月末で退職することとなりました。

矢野から皆さんへのメッセージをお届けいたします。



いつもお世話になっております。明昌株式会社の矢野です。

この度、一身上の都合により12月をもちまして退職する事になりました。

2020年に入社し、コロナ禍という事もあって先行きが不透明なところからのスタートではありましたが、お得意先様からはいつも温かいお言葉やお力添えをいただき、営業マンとして、社会人として成長できたことを心より感謝申し上げます。今後は別の業界で働く事になりますが、ここで得た経験を生かして更に成長していく様に頑張って参ります。引き続き明昌に変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。これまで本当にありがとうございました。

彼の大きな決断を心から応援する気持ちであります。矢野へのこれまでのご支援に感謝申し上げます！

本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます！

フレキソ印刷と共に73年～明日を見つめて 明日を拓く～



明昌株式会社

<http://www.meisho-c.co.jp>

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島1-14-10(阪急電車・南方駅から徒歩1分)

TEL:06-6304-8340 FAX:06-6305-6788 E-mail:contact@meisho-c.co.jp